

事務事業評価表

事務事業名	和光北インター地域土地区画整理組合活動支援	計画コード	0201
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	区画整理担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	良好な市街地の整備		
施策	2	交通の利便性を生かした産業拠点の整備	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	土地区画整理法 和光市組合等まちづくり整備事業補助金交付要綱
対象	和光北インター地域土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者		
意図・目的	和光北インター地域土地区画整理事業の組合員による事業の推進により、新産業・工業・物流系の優良なまちづくりとなっている。		
活動概要	和光北インター地域土地区画整理事業を推進する。(仮換地指定に伴う各種業務・区画道路整備工事・宅地造成工事・上下水道、公園等築造工事・建物移転・物件補償)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 和光北インター地域土地区画整理組合) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (技術的支援)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	仮換地指定面積		%	0.0	0.0	0.0	100.0	100	0.0			
		整備面積の拡大(公共施設整備進捗率)		%	0.0	5.1	9.7	12.0	100	9.7				
		事業費ベースの進捗率		%	0.0	1.3	3.1	18.6	100	3.1				
	追加指標	道路整備延長		m	0.0	0.0	0.0	0.0	4,012	0.0				
		使用収益開始率		%	0.0	0.0	0.0	0.0	100	0.0				
費用的評価	事業費	予算額		千円	18,000	30,000	57,000	200,000	備考					
		決算額		千円	10,000	30,000	57,000	-						
		財源内訳	(一般財源)		千円	10,000	30,000	57,000	25,000					
			(特定財源)		千円	0	0	0	175,000					
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0				
		職員分		千円	7,930	7,930	7,930	7,930						
		非常勤分		千円	0	0	0	0						
総事業費(事業費+人件費)		千円	17,930	37,930	64,930	207,930								
定性的評価	活動の成果	事業手法の選択肢の一つとして、業務代行方式を取り入れを可能にするために、定款の変更、工事請負規程等を見直した。公募した業者からのプレゼンを採用し、業務代行者とともに事業計画見直すことで、当初予定していた仮換地指定の時期はおくれるものの、仮換地指定後、業務代行者の保留地先行取得で事業資金の確保が出来る。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	事業計画の見直しに伴い、地権者の個別ヒアリング、土壌概況調査、地区内外の測量等スケジュールが過密になるが、出来るだけ早期に仮換地指定を行う。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 土地区画整理事業に必要な各規定などを定めるための会議や総会を開催している状況である。平成21年度からこれまで市補助金を組合に支出しており、組合では資金調達が軽減されている。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	土地区画整理組合では、組合事業に関する手法に業務代行方式を採用した。これにより、事業資金の軽減と円滑な運営、更には工事の一括発注による工事費の削減と短縮が図られ、27年度までに工事完成を目指す。

事務事業評価表

事務事業名	景観形成推進	計画コード	0301
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	計画担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	良好な市街地の整備		
施策	3	良好な景観形成の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	景観法
対象	市民		
意図・目的	良好な景観を守り、育て、創り、「まちに愛着を抱き、誇りに感じる“都心に近い緑豊かなふるさと”景観づくり」の実現を目指す。		
活動概要	景観審議会の運営等景観形成の推進に係る業務を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	景観重要建造物及び景観重要樹木の指定件数	件				0.0	0.0	1.0	0.0				
		景観審議会	回		1.0	1.0	2.0	1.0	100.0					
	追加指標													
	事業費	予算額	千円	4,500	50	52	52	備考						
費用	財源内訳	決算額	千円	3,443	26	26	-							
		(一般財源)	千円	3,443	26	26	52							
	(特定財源)	千円	0	0	0	0								
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0			
		職員分	千円	0	610	610	610							
		非常勤分	千円	0	0	0	0							
総事業費(事業費+人件費)	千円	3,443	636	636	662									
定性的評価	活動の成果	一定規模以上の建築物等について、和光市景観条例・景観計画における基準に基づき外壁の色彩などの届出をしてもらうことにより、地域の特長を生かした良好な景観形成がなされるよう誘導した。 市民への啓発活動の一環として和光市景観マップを作成するにあたり審議会でも出された意見を参考とし、より良いマップの完成に寄与した。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	当事務事業は短期的に成果を上げることは難しいが、現在行っている事業を継続して進めていく必要がある。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	景観条例に基づく景観計画を推進していく。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	平成22年度に決定した、景観10選をマップとして作成しました。これらの資料を活用し更に市内の景観形成を推進していきます。

事務事業評価表

事務事業名	和光市景観マップ作成業務	計画コード	0302
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	計画担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	良好な市街地の整備		
施策	3	良好な景観形成の推進	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	
対象	市民		
意図・目的	市民が、景観10選を始めとした市内の良好な景観を広く知っており、良好な景観形成に興味をもっている。		
活動概要	景観10選を始めとした市内の良好な景観などを記載した和光市景観マップを作成し、公共施設で市民に配布する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	景観マップ配布枚数	枚			800.0	1,200.0	0.0					
		追加指標												
	費用	事業費	予算額	千円	0	0	1,436	0	備考					
			決算額	千円	0	0	1,363	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	1,363	0						
			(特定財源)	千円	0	0	0	0						
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0		
			職員分	千円	0	0	1,220	0						
			非常勤分	千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	2,583	0								
定性的評価	活動の成果	景観マップを通して、市民が市内のさまざまな景観や歴史的な施設などを知ることにより、良好な景観形成に関心を持ってもらうきっかけとなった。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	B	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	B	B
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	景観マップの完成をもって現時点における事業継続の必要性が薄れたため、終了する。今後はマップの在庫がなくなった段階において、事業について再検討を行う必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	市の特徴を景観マップにまとめ、多くの市民へ当市の誇れる場所を紹介し景観に興味を持ってもらう。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	景観マップの作成は終了することが出来ました。

事務事業評価表

事務事業名	越後山土地区画整理組合活動支援	計画コード	0401
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	区画整理担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	土地区画整理法 和光市組合等まちづくり整備事業補助金交付要綱
対象	越後山土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者		
意図・目的	越後山土地区画整理事業の組合員による事業の推進により、快適で安心・安全なまちとなっている。		
活動概要	越後山土地区画整理事業を推進する。(区画道路整備工事・宅地造成工事・上下水道、公園等築造工事・建物移転・物件補償)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 越後山土地区画整理組合) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (技術的支援)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的 評価	活動実績	当初設定指標	整備面積の拡大(公共施設整備進捗率)	%	5.1	5.5	40.2	50.1	100.0	40.2				
			事業費ベースの進捗率	%	28.8	34.1	40.8	43.0	95.0	42.9				
			道路整備延長	m	693.0	693	906.0	1,275.0	3655.1	24.8				
		追加指標	使用収益開始率	%	40.2	42.3	48.3	56.4	100	48.3				
定性的 評価	費用	事業費		予算額	千円	127,200	28,500	375,000	100,000	備考				
				決算額	千円	127,200	28,500	374,980	-					
		財源内訳	(一般財源)		千円	127,200	28,500	374,980	100,000					
			(特定財源)		千円	0	0	0	0					
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0			
			職員分		千円	7,930	7,930	7,930	7,930					
			非常勤分		千円	0	0	0	0					
総事業費(事業費+人件費)		千円	135,130	36,430	382,910	107,930								
定性的評価	活動の成果	全体の事業進捗は予定より遅れてはいるが、平成23年度に調整池が完成し、整備面積の拡大(公共施設整備進捗率)の指標では大きな躍進が見られた。今後、調整池周辺のインフラ整備が整えば、更なる事業の進捗が期待できる。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	以前から調整池周辺で反対の意向を持った組合員から、一部土地の立ち入りが容認された。反対の意向を示している地権者との更なる交渉により、合意形成を図り事業完成を目指す。		
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		
	社会資本整備総合交付金における都市再生整備計画(旧まちづくり交付金)事業により調整池工事が完了することが出来た。		

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)		
取組内容(改善内容)	事業地区のほぼ中央に位置している雨水調整池の築造工事を中心に区画道路の築造工事を行い、平成23年度末の進捗率では41.3%となった。平成25年度以降も、地区内のインフラ整備を中心に事業を展開していく。		

事務事業評価表

事務事業名	白子三丁目中央土地区画整理組合活動支援	計画コード	0402
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	区画整理担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	土地区画整理法 和光市組合等まちづくり整備事業補助金交付要綱
対象	白子三丁目中央土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者		
意図・目的	白子三丁目中央土地区画整理事業の組合員による事業の推進により、快適で安心・安全なまちとなっている。		
活動概要	白子三丁目中央土地区画整理事業を推進する。(仮換地指定に伴う各種業務・区画道路整備工事・宅地造成工事・上下水道、公園等築造工事・建物移転・物件補償)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 白子三丁目中央土地区画整理組合) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (技術的支援)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度		達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標												
		仮換地指定面積	%	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0					
		整備面積の拡大(公共施設整備進捗率)	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0					
	事業費ベースの進捗率	%	1.0	2.3	3.4	10.6	100.0	3.4						
	追加指標	道路整備延長	m	0.0	0.0	0.0	0.0	2754.0	0.0					
	使用収益開始率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0						
定性的評価	事業費	予算額	千円	15,000	30,000	52,500	171,200	備考						
		決算額	千円	15,000	30,000	52,500	-							
		財源内訳	(一般財源)	千円	15,000	30,000	52,500	18,500						
			(特定財源)	千円	0	0	0	152,700						
	人件費	職員数(正規/非常勤)	人	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0			
		職員分	千円	7,930	7,930	7,930	7,930							
		非常勤分	千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)	千円	22,930	37,930	60,430	179,130								
活動の成果	仮換地指定(案)を作成し、地権者との合意形成を得るために、調整を行っている。個別に面談して、調整が可能なものについて対応し、調整困難なものは慎重に根気よく説明することにより、多くの同意を得る。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	埋蔵文化財調査区域が広く、調査の進捗が今後の事業に大きく影響が出るので、土地利用は調査のスケジュールに優先させる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	土地区画整理事業による計画的な土地整備を行ない、良好な居住環境を形成する。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	平成23年度は、地区内のほぼ全域に包蔵されている埋蔵文化財調査と仮換地指定に伴う調査業務を行った。平成24年度は引き続き埋蔵文化財調査を行い、平成25年度から本格的に工事着工を目指す。

事務事業評価表

事務事業名	都市計画道路整備負担金(中央第二谷中土地区画整理事業)	計画コード	0403
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	区画整理担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	埼玉県組合等土地区画整理事業(地域化活力基盤創造交付金(区画整理)補助金交付要綱)
対象	中央第二谷中土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者		
意図・目的	中央第二谷中土地区画整理事業の組合員による事業の推進により、快適で安心・安全なまちとなっている。		
活動概要	中央第二谷中土地区画整理事業を推進する。(都市計画道路整備)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (埼玉県都市整備部市街地整備課)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	都市計画道路整備延長	m	684.2	824.5	824.6	966.1	966.1	966.1	85.4		
		追加指標											
	費用	事業費	予算額	千円	67,650	72,500	24,750	43,965	備考				
			決算額	千円	67,650	72,500	24,750	-					
		財源内訳	(一般財源)	千円	67,650	72,500	24,750	4,465					
			(特定財源)	千円	0	0	0	39,500					
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
			職員分	千円	0	0	0	0					
			非常勤分	千円	0	0	0	0					
	総事業費(事業費+人件費)	千円	67,650	72,500	24,750	43,965							
定性的評価	活動の成果	平成23年度は、都市計画道路内の建物移転が行われ、平成24年度には地区内の都市計画道路L=966.1m全線が竣工する。											

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	この事務事業については、平成24年度が最終となる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) 谷中組合による区画整理事業の推進と合わせ、組合事業として都市計画道路の整備を行なっている。なお、平成24年度で国庫補助金事業が最終年度となっている。
--------	---

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	区画整理事業の推進に合わせ都市計画道路の整備を進めてきた。平成24年度には、都市計画道路諏訪越四ツ木線が竣工する。

事務事業評価表

事務事業名	地方特定道路整備負担金(中央第二谷中土地区画整理事業)	計画コード	0404
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	区画整理担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	埼玉県組合等土地区画整理事業[地方特定道路(区画整理)整備事業]補助金交付要綱
対象	中央第二谷中土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者		
意図・目的	中央第二谷中土地区画整理事業の組合員による事業の推進により、快適で安心・安全なまちとなっている。		
活動概要	中央第二谷中土地区画整理事業を推進する。(建物移転)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (埼玉県都市整備部市街地整備課)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	建物移転	戸	161.0	168.0	174.0	181.0	184.0	94.6				
		追加指標												
		事業費	予算額		千円	65,000	35,000	15,000	15,000	備考				
			決算額		千円	65,000	35,000	15,000	-					
財源内訳	(一般財源)		千円	65,000	3,500	15,000	1,500							
	(特定財源)	千円	0	31,500	0	13,500								
費用	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
		職員分		千円	0	0	0	0						
		非常勤分		千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)		千円	65,000	35,000	15,000	15,000							
定性的評価	活動の成果	平成23年度は、都市計画道路諏訪越四ツ木線内の建物移転が行われ、平成24年度に街路築造工事が行われる。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	この事務事業については、平成24年度が最終となる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	谷中組合による都市計画道路の整備に伴う、国庫補助金による建物等の補償を行っている。平成24年度が最終となる。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	区画整理事業の進捗にあわせ、工事や補償等を中心に整備を行った。平成24年度も同様に整備を行う。

事務事業評価表

事務事業名	中央第二谷中土地区画整理組合活動支援	計画コード	0405
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	区画整理担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	土地区画整理法 和光市組合等まちづくり整備事業補助金交付要綱
対象	中央第二谷中土地区画整理事業区域地権者及び関係権利者		
意図・目的	中央第二谷中土地区画整理事業の組合員による事業の推進により、快適で安心・安全なまちとなっている。		
活動概要	中央第二谷中土地区画整理事業を推進する。(区画道路整備工事・宅地造成工事等)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 (補助先: 中央第二谷中土地区画整理組合) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (技術的支援)		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値					
定量的評価	活動実績	当初設定指標	整備面積の拡大(公共施設整備進捗率)	%	49.7	59.5	91.3	97.0	100.0	91.3			
		事業費ベースの進捗率	%	86.0	93.8	86.8	93.5	95.0	91.4				
	追加指標	道路整備延長	m	6725.8	7713.3	7,984.5	8,579.9	8885.0	89.9				
		使用収益開始率	%	61.1	66.2	73.9	86.1	100.0	73.9				
定性的評価	費用	事業費		予算額	千円	530,000	465,875	653,200	642,000	備考			
		決算額		千円	530,000	465,875	649,073	-					
		財源内訳	(一般財源)	千円	530,000	351,801	649,073	114,850					
			(特定財源)	千円	0	114,074	0	527,150					
	人件費	職員数(正規/非常勤)		人	1.3	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0			
		職員分		千円	7,930	7,930	7,930	7,930					
		非常勤分		千円	0	0	0	0					
総事業費(事業費+人件費)		千円	537,930	473,805	657,003	649,930							
活動の成果	平成23年度の事業計画の見直しにより、最終の事業年度が平成26年度から平成28年度に延び、事業費の総額が12,570,000千円から14,340,000千円に膨らんだ。その結果、事業費ベースの進捗率で後退したように見えるが、インフラの整備、宅地造成、建物移転などは確実に推進しており、まさに事業の最終局面をむかえようとしている。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今回の事業計画の見直しが最終のものであり、限られた資金をどのように有効に活用するか、平成28年度に事業をどのように終息させるかが課題となる。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
事業の方向性	第5回目となる事業計画の変更が行われ、平成29年3月末までの事業施行期間と、2年間延伸されたがこのまま事業に対する補助は必要である。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	第2雨水調整池築造関連工事と道路築造工事5件、宅地造成工事6件、建物移転5件などを行い、事業の進捗は平成23年度末で88.3%に至った。平成26年度までに工事、移転等を終わらせることを目途に事業を推進する。

事務事業評価表

事務事業名	都市計画業務	計画コード	0406
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	計画担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務・法定受託事務	根拠法令等	都市計画法
対象	市民の生活の基盤となる都市で生活する市民		
意図・目的	都市の健全な発展を誘導し、秩序あるまちで生活している。		
活動概要	都市計画審議会の運営等都市計画に関する業務を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度 目標値	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	見込値						
定量的評価	活動実績	当初設定指標	都市計画審議会開催回数	回	3.0	2.0	1.0	3.0	3.0	3.0	33.3			
		追加指標												
	費用	事業費	予算額		千円	2,347	1,669	1,759	1,987	備考				
			決算額		千円	2,211	1,159	1,186	-					
			財源内訳	(一般財源)		千円	2,209	1,157	1,186	1,986				
				(特定財源)		千円	2	2	0	1				
		人件費	職員数(正規/非常勤)		人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0			
			職員分		千円	610	610	610	610					
			非常勤分		千円	0	0	0	0					
総事業費(事業費+人件費)		千円	2,821	1,769	1,796	2,597								
定性的評価	活動の成果	都市計画支援システムにより、電話対応や図面作成の効率化が図られている。 都市計画審議会の議を経て生産緑地地区が追加指定されることにより農地・緑地が計画的に確保され、防災面などで良好な居住環境の形成に寄与している。												

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	当事業は都市整備課業務の定型的事務に関する事業であり、経済性や効率性については既にでき得る限りの改善を行っているため、このまま事業を継続していく。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	都市計画審議会の運営等都市計画に関する業務を行う。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	本市に長く住み続けたいと思うよう計画的な土地整備を行い、良好な居住環境を形成するため、今後も継続して都市計画審議会を開催していく。

事務事業評価表

事務事業名	都市基盤整備基金積立	計画コード	0407
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	計画担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	和光市都市基盤整備基金条例
対象	和光市都市基盤整備基金		
意図・目的	今後予想される都市基盤整備に備え必要な財源を確保する。		
活動概要	財政状況や事業の進捗を勘案しながら基金の積立を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

	指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
			実績値	実績値	実績値	見込値	目標値							
定量的評価	活動実績	当初設定指標	各年度末基金現在高	千円	306,289.0	212,124.0	232,177.0				500,000.0	46.4		
		追加指標												
	費用	事業費	予算額	千円	101,567	100,401	232,177	124	備考					
			決算額	千円	101,567	100,401	232,177	-						
		財源内訳	(一般財源)	千円	101,567	100,001	232,177	0						
			(特定財源)	千円	0	400	0	124						
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
			職員分	千円	0	0	0	0						
			非常勤分	千円	0	0	0	0						
	総事業費(事業費+人件費)	千円	101,567	100,401	232,177	124								
定性的評価	活動の成果													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	A	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
	A できない B 既に協働して実施している C できる		
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	A	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	A	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	A	A
	A 統合・連携できない B 統合・連携できる		
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	今後予想される都市基盤整備に備え必要な財源を確保する。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	今後予想される都市基盤整備に備え必要な財源を確保する。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容 (改善内容)	都市基盤の整備事業に充てるため、今後も継続して積み立てを行っていく。

事務事業評価表

事務事業名	都市計画基礎調査	計画コード	0408
所属名(部・課・担当)	建設部 都市整備課	担当名	計画担当
基本目標	快適で暮らしやすいまち【都市基盤】		
基本施策	快適な住宅地の整備		
施策	4	良好な居住環境の形成	
取組内容番号			

1. 事業の概要

事務区分	自治事務	根拠法令等	都市計画法
対象	市民の生活の基盤となる都市		
意図・目的	都市の形状、都市化の動向などのデータを把握し、都市計画の策定とその実施が適切になされ、都市基盤整備に活かされている。		
活動概要	市内の土地利用の状況や人口の分布などの動向を調査し、都市計画策定業務等に活かせるようデータとしてまとめ、都市計画支援システムに反映する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者:) <input type="checkbox"/> 補助金 (補助先:) <input type="checkbox"/> その他 ()		

2. 事業の実績

		指標名	単位	21年度		22年度		23年度		24年度		27年度	達成度 (%)	備考	
				実績値	実績値	実績値	実績値	見込値	目標値						
定量的評価	活動実績	都市基盤整備に係る都市計画決定件数	件					1.0		5.0	1.0	100.0			
定量的評価	費用	予算額	千円	0	0	4,830	0	備考							
		決算額	千円	0	0	4,410	-								
		財源内訳	(一般財源)	千円	0	0	4,410	0							
			(特定財源)	千円	0	0	0	0							
		人件費	職員数(正規/非常勤)	人	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0			
			職員分	千円	0	0	610	0							
			非常勤分	千円	0	0	0	0							
	総事業費(事業費+人件費)	千円	0	0	5,020	0									
定性的評価	活動の成果	都市計画策定などの業務にあたり、都市計画調査が活かされ、効率的かつ有効な事業実施に役立っている。													

3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

	個別評価項目	1次	2次
必要性	【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか	A	A
	A 必要性は変わらない B 必要性は薄れている		
公共性	【市の関与】市が行うべきものですか	C	A
	A 市が実施すべき B 市以外の実施も可能 C 市以外が実施すべき		
	【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。	A	A
経済性	【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。	B	A
	A 最小である B 削減の余地がある		
効率性	【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか	B	A
	A 最も効果が高い B 改善の余地がある		
	【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。	B	A
有効性	【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか	A	A
	A 進んでいる B 進んでいない		

4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

課題	当事業は都市計画法第6条に定められた調査に関する事業であり、おおむね5年ごとに行うものであるため休止となる。本来、同条において都道府県が行う調査として規定されていることから、今回は埼玉県が実施することや補助割合の増額などを求めることも考えられる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)

5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
	調査は計画どおり完了し、埼玉県への報告を行った。

6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) 方針策定後に記入

事業の方向性	<input type="checkbox"/> このまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了(廃止・休止)
取組内容(改善内容)	5年おきの調査で、県へ報告し終了した。